

## 第2部 部門別協議会 (青少年奉仕部門)

岡部泰鑑PGの挨拶に引き続き、それぞれから活動実績と次年度方針の説明があった。青少年活動委員会・高橋一雅次年度委員長からはライラ、少年少女ニコニコキャンプを中心とした説明。[活動実績]は2000年以降の参加総数130名前後、ロータリアン登録人数350名前後、収支350万円前後で推移した。[次年度方針]ではキャンプ総予算:240万円(100~150万円の削減)とし、各クラブから会員数の10%程度登録願いたいと要請があった。

ローターアクト委員会・丸尾昭二次年度委員長からは、RACの説明があり、同時にRAC次年度地区代表及び幹事より挨拶があった。[次年度方針]は、<.委員会の役割強化>・<.事業内容充実に向けた取組み>・<.指導者育成のための環境づくり>・<.青少年部門との連携>・<.RACサポートシステムの進化と確立>である。

インターアクト委員会・西秀樹次年度委員長からは、IACの説明。[次年度方針]は、<.インターアクターのリーダーシップ育成>・<.青少年奉仕部門との連携強化>・<.中学・高校と提唱クラブとの連携強化、全国インターアクト研究会への参加促進>・<.新クラブ設立と増加>である。[活動計画]として今年8月上旬に韓国第3650地区を訪問し、国際的視野を持つリーダーの育成に寄与する計画がある。

地区青少年交換委員会・磯田郁子次年度委員長からは、青少年交換プログラム・危機管理・ローテックスの説明。青少年交換プログラムは2016年8月に出発し約1年間、青少年大使としての国際理解と親善に努める予定である。

岩津陽介次年度危機管理委員長からは、青少年ワークショップの開催案内があり、過去の青少年奉仕の感動の経験を踏まえた、青少年奉仕への参加を呼びかけた。最後に岡部PGの講評を得て、会を終了した。